取扱説明書
家庭用バイオ式電気生ごみ処理機用

基材(バイオフレーク)セット

BG-C15形

HITACHI

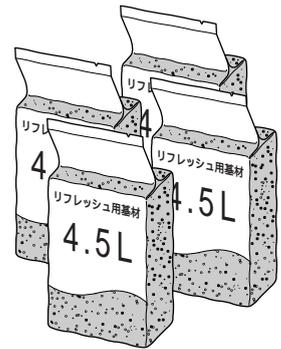
このたびは基材セットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

袋：>PE<

■ 基材の内容

●約4.5L入りのパック…4パック
1）基材には、あらかじめバイオ菌が混ぜてあります。
2）本品はシュリンクパックにより圧縮した状態でパックされております。
1パックを開けると約4.5Lになります。
※パックの上部に空気がたまったものがありますが、性能上支障ありません。
そのままご使用ください。

●本品はBG-C10形のpH調整剤を「いきいきミネラル」に変更したものです。
これは海水中に溶けているミネラルを精製したもので、「pH調整力が長持ちする」、「微生物の働きを活性化する」、「酸性臭を抑えるので消臭効果がある」などいろいろな働きをします。

●本品を使用できる機種…BGD-300・300N形、BGD-200・200N形、BGD-100・170形、
BGD-150・150K・150D形、BGD-120・120K形、
BGD-100・100K形、BGD-12・12K・10形

■ 基材の使いかた

基材は生ごみの分解を繰り返しますと、茶褐色の土状に変化します。さらに生ごみの処理が続くと次第に右記のような状態に変化し、微生物が住みにくくなります。本基材を用いて、基材のリフレッシュ（基材の部分交換）をおこなってください。

1．粒状の固まりができる。
2．未処理の生ごみが目立つ。
3．粘り気が多くなる。
4．においが強くなる。

1 リフレッシュ(基材の部分交換)する場合。くわしくは、本体の取扱説明書をご覧ください。

1.古い基材を取り出す

2.新しい基材を追加

ご注意
● 必ず2パック(約9L)追加してください。
1パックでは、においが出るなど基材交換を早めます。

●リフレッシュ用基材2パックを投入し、（ボタン）ボタンを3秒以上押してください。
（ピッピッピッピーとブザーが鳴り、ランプがクリアーされて消えます。）

●BGD-300・300N形、BGD-200・200N形には、基材の自動取出装置がついておりますので、活用してください。取り出し作業が楽にできます。もちろん左図のようにスコップで取り出してもかまいません。

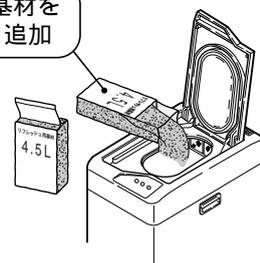
※BGD-12、BGD-12K、BGD-10形の交換作業は裏面に従ってください。

● 別売りのグリーンキューブ(BG-G5)をご利用になる場合

● リフレッシュ用基材2パックとグリーンキューブ1袋(約0.5L)を必ず一緒に追加してください。
● くわしくは、グリーンキューブの取扱説明書をご覧ください。

※ BGD-12，BGD-12K，BGD-10形に使用する場合のリフレッシュのしかた
くわしくは、本体の取扱説明書をご覧ください。

1.古い基材を取り出す

2.新しい基材を追加

●古い基材を取り出すときは、あらかじめ、基材を「基材量調節の目安」まで取り出し、ここからさらに、9L取り出してください。
●基材セットにはあらかじめ微生物が混ぜてありますので、今までのようにバイオパウダーを投入する必要はありません。

2 基材の全量交換する場合

●リフレッシュが遅れて、著しく悪い状態になってしまうと、基材のリフレッシュでは復旧できなくなってしまいます。このときは古い基材を全部取り出し、下記の分量で全量交換してください。

本体形式	基材の量	グリーンキューブ(BG-G5)を一緒に使用する場合
BGD-300・300N形 BGD-200・200N形 BGD-110・170形 BGD-150・150K・150D形 BGD-120・120K形 BGD-100・100K形	4パック(約18L)	4パック(約18L) と グリーンキューブ(BG-G5)2袋(約1L)
BGD-12・12K・10形	6パック(約27L)または 4パック(約18L) と古い基材(約6L)	6パック(約27L)または 4パック(約18L)、古い基材(約6L) とグリーンキューブ(BG-G5)2袋(約1L)

※グリーンキューブ(BG-G5)の併用による基材量の多少の増減は処理機能に影響ありません。
くわしくは、グリーンキューブ(BG-G5)の取扱説明書をご覧ください。

●水を約2L入れてください。

■ 使用上のご注意

●基材のリフレッシュをおこなってから5〜6日過ぎても基材の状態がよくならないときは、もう一度リフレッシュをおこなってください。それでも基材の状態が良くならないときは、基材全体を交換してください。
●けが防止のため、手袋をご使用ください。
●基材のリフレッシュなどで基材に触ったときは、必ず手を洗ってください。生ごみを投入後の基材は土や堆肥と同じです。衛生上好ましくありません。

■ 基材の保存

●残った基材は、子供の手の届かない場所で、直射日光の当たらない場所に補充用として保存してください。

株式会社 日立空調システム
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-23-2
電話 (03)3255-7271

株式会社 日立製作所
〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03)3502-2111

3-J3253-8A
A2(AP)